

平成 29 年 (2017 年) 8 月 19 日(土), 20 日(日)の 2 日間にわたって, 日本口腔顔面痛学会初の企画である脳学習キャンプ in 信州が, 松本歯科大学において開催されました. 真夏の 2 日間, 32 名が実習に参加し, 痛みの理解には不可欠な脳の解剖と機能を学ぶ大変有意義な 2 日間となりました. 興奮と感動に包まれたキャンプの様子を広報委員の石垣がお届けいたします.

脳学習キャンプ in 信州 参加 (して本当によかった) 報告

大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座
クラウンブリッジ補綴学分野 石垣 尚一

『脳学習キャンプ in 信州』は, 日本口腔顔面痛学会初の試みとして, 松本歯科大学において開催されました. 大阪伊丹から信州まつもと空港まで 40 分のフライト. あいにくの曇天で北アルプスの稜線を望むことはできませんでしたが, 空港到着後は松本歯科大学まで車で約 10 分という, 驚くほど短時間で到着. 緑の美しいキャンパスは何度来てもうらやましい環境に恵まれています (写真 1).



写真 1 松本歯科大学の実習会場

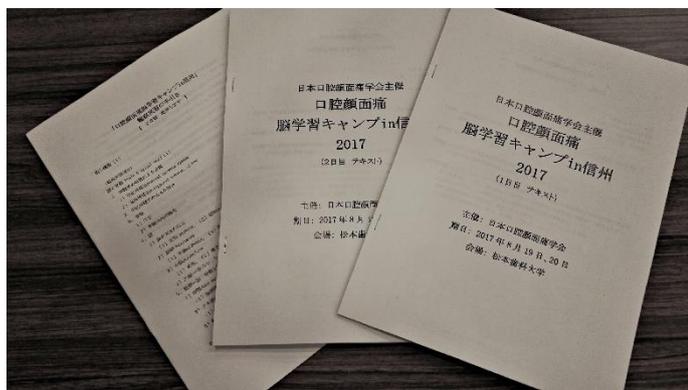


写真 2 配布されたテキスト 3 冊の厚さは約 1.5 cm !

午後 1 時 20 分から, ご献体への黙祷の後, 金銅英二先生, 奥村雅代先生による講義を交えながら, 脳の外観, 髄膜の構造, 神経節・神経核, 終脳, 大脳辺縁系, 神経線維・神経束, 大脳基底核, 間脳・視床など, 脳の外観・内観から神経系の全貌を脳の標本に触れながら確認しました (写真 3). 参加者の出身大学によっては, 大学で詳細な脳実習を行った経験がないようで, ひとつずつ構造が明らかになるたびに, 実習会場から「へえ〜」, 「おお〜」など, 通販番組を思い起こすような歓声があき上がり, 興奮に包まれていきました (本当です).

さて, いったい何が始まるのだろうと多分参加者のほとんどが期待と不安に包まれるなか, 1 日目の 8 月 19 日(土)は, セミナー企画委員会委員長の村岡 渡先生のご挨拶の後, 松本歯科大学の金銅英二先生からセミナーの概要と, 配布された驚くほど分厚いテキスト 3 冊 (写真 2) について説明があり, 引き続き講義を交えた実習が開始されました.



写真 3 松本歯科大学解剖実習室



写真4 荻野祐一先生によるご講演

1日目夜の懇親会は、松本歯科大学のおしゃれな Chinese Restaurant “Stardust”にて行われました。今村佳樹先生のお立ち台からのご挨拶に続き、前菜からデザートまですべて美味しい本格中華でした(写真5)。懇親会の後はキャンパス内で引き続き二次会！岩田幸一先生からは、「本学会の真の目的は痛みを追求する同胞の親睦にあるのだ！」という本音も飛び出し(少し誇張あり)、いっそう盛り上がりました。



写真5 1日目懇親会(一次会です)



写真6 北原功雄先生によるご講演

現代の痛みを学ぶ上で脳機能に関する理解が必須となっており、今回の脳学習キャンプ in 信州は、それらを総合的に学ぶまたとない機会でした。

本学会初企画でしたが、本当に参加してよかったと思っている参加者が大半だと思います(写真7)。次の機会があれば、くれぐれもお見逃さないようお祈りいたします。

最後になりましたが、企画および運営に多大なご尽力をいただいた松本歯科大学口腔解剖学講座の金銅英二先生ならびに教室の先生方、お手伝いいただいた学生のみなさまに深く感謝申し上げます。



写真7 参加者集合写真